

創刊120周年

幼児の教育

2021~2022

冬

— since1901 —

子ども学の源流を次世代につなぐ

第
一
号

第
二
二
卷



ある冬の日。

しゃがみ込めば、

そこだけほんのり暖かい。

写真

子どもの情景 1

目次 まど

歩く・探す・出会う・驚く・また歩く 2

特集

創刊120周年記念

『幼児の教育』120年。

未来に何をつなぐのか 4

散歩の意味をとらえ直そう

― 戸外の保育が学びをひらく 4

《座談会 2021》

久保健太・坂本喜一郎・野村真子・宮里晁美 5

実践

私の保育ノート

つながっていくそれぞれの「思い」

平野亜季 22

保育をつなぐ

～ お茶の水女子大学附属幼稚園からの発信 ～

Vol.12

海外とのつながり

上坂元絵里 26

連載

「育ての心」で語りあう

～ 動画を囲んだDX時代のカンファレンス ～

Vol.4

子どものアンテナに大人が気づく

市川杏子・井口陽南子・能登比呂志
伊垣尚人・久保健太

32

視点

お散歩を通じてまちで育てる

「まち保育」の視座

三輪律江 38



目次

表紙の図柄は、1901年に創刊された弊誌第1号の表紙図柄（荒木十敏・画）をデザイン化したものです。

視点

ドイツの自然で育まれる心

野原咲子

42

文化

鎌倉おもちゃ屋物語 その12

黒須和清

47

探究

からだのはなし

～ 乳幼児期の性教育を考える ～

北山ひと美

61

目録

『幼児の教育』令和3年総目録

62

子どもの学びの心

イベント・メディア情報

読者投稿・編集後記 他

63

まど ■ 歩く・探す・出会う・驚く・また歩く

「ただいま」と保育士の元気な声。小さな玄関がにわかにぎわって、1・2歳児にじぐみの子どもたちが、痛いほどの寒さなどものともせず、森へのお散歩から戻ってきた。送り出してからはや2時間超。秋風がかすかに吹くようになつた頃から、にじぐみの子どもたちは——というよう大人たちは、こうしちやいられないとばかりに「森」と称する近隣の大きな公園へ通い始めた。自力歩行を始めてまだ1年にも満たない人たちが、皆、それなりの道のりを立派に歩きおおせて帰ってくる。その日は、公園内ではまず思い思いの道を行き、シニコロウマエ（公園ゆかりの偉人の彫像前）で待ち合わせることを、現地入りしてから決めたらしい（出かける前には決めないところがミン）。集合してから皆で最奥の木立でひと遊び。人によっては、枝やら実やら小石やらを手に、探検隊よろしく皆でえんやらえんやら帰ってくる。今日もまた、既知の人や自然やモノ、未知の人や自然やモノと、そのうちしく付き合ひ、畏怖したり親しくなったりしてきたのだらう。明らかに「あゝ面白かった！ おなかぺっこぺこ」という表情で、土や木の葉にまみれて帰ってくるさまが、とてもまぶしい。

(菊地)



編集後記

2021年夏、東京2020オリンピック・パラリンピックが無事に開催され大きな感動を呼びました。コロナ禍の中での開催への感謝を示しつつ、目を輝かせて競技に取り組む選手たちの姿からは、明日へ明日へと前進し続ける勢いがみなぎり、見ている私たちに大きな勇気を与えてくれたように思います。

『幼児の教育』も前進を続けています。2021年春号から表紙を一新し、内容もさらに充実したものへと転換しました。2次元コードを載せて実際の映像を視聴できるようにしたのも新しい企画です。かつて倉橋惣三がそうであったように、私たちは常に新しい可能性へ向かって心を開き、取り組んでいきたいと思っています。

冬号の座談会は引き続きリモート開催でした。「散歩」「自然とのかかわり」をテーマに語りあいましたが、座談会が終わった後に「いつか園に遊びに来てください」という呼びかけがあり、一同大いに盛り上がりました。私も座談会に参加していましたが、画面で見た魅力的な場所にいつか必ず行く！と心に誓ったのでした。

2021年が終わり、いよいよ2022年です。秋から冬へ、そして春へと季節は確実に移り変わっていきます。季節の移ろいに歩調を合わせながら、コロナの状況が次第に落ち着き、「以前の暮らし」が少しずつ戻ってきていますようにと願いながら、日々を過ごしていきたいと思っています。(MA)

次号予告 幼児の教育 春号 2022年4月刊行予定

創刊121年。歴史を生かし「今」の保育をどうするか。

- ◇ 倉橋惣三生誕140周年記念特集 1
座談会 「人間・倉橋惣三を想う」
倉橋和雄氏、倉橋耀子氏、倉橋麻生氏 ほか
- ◇ 新企画 「パパ・じいじ・ばあばの子育て日記」 池永憲彦氏
- ◇ 論考 「僕の中の文化」 浦中こういち氏（絵本作家） ※タイトル・内容が変更になる場合もあります。

幼児の教育 冬号 第121巻 第1号

令和4年1月1日発行
編集発行人／浜口順子
編集担当／田中恭子
発行所／お茶の水女子大学
『幼児の教育』編集委員会
〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
浜口順子研究室内
youji-no-kyouiku@cc.ocha.ac.jp

発売所／株式会社フレーベル館
電話：03-5395-6604（編集）
振替／00190-2-19640
印刷所／図書印刷株式会社
定価／968円（本体880円＋税）
◎お茶の水女子大学『幼児の教育』編集委員会
2022 Printed in Japan 無断転載禁止
落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

編集委員／菊地知子
久保健太
高橋陽子
松島のり子
宮里咲美
お茶大3園合同研究会
（附属幼稚園、
いずみナーサリー、
文京区立お茶大こども園）
編集協力／フレーベル館

●ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613（営業）●

